

食育に関する状況をお知らせします！

玄海町では、令和5年度に「第二次玄海町食育推進基本計画」の策定を予定しており、そのために、町民の皆さんの食生活や前計画にもとづく食育の取組み等をふりかえりました。その結果の概要をお知らせいたします。

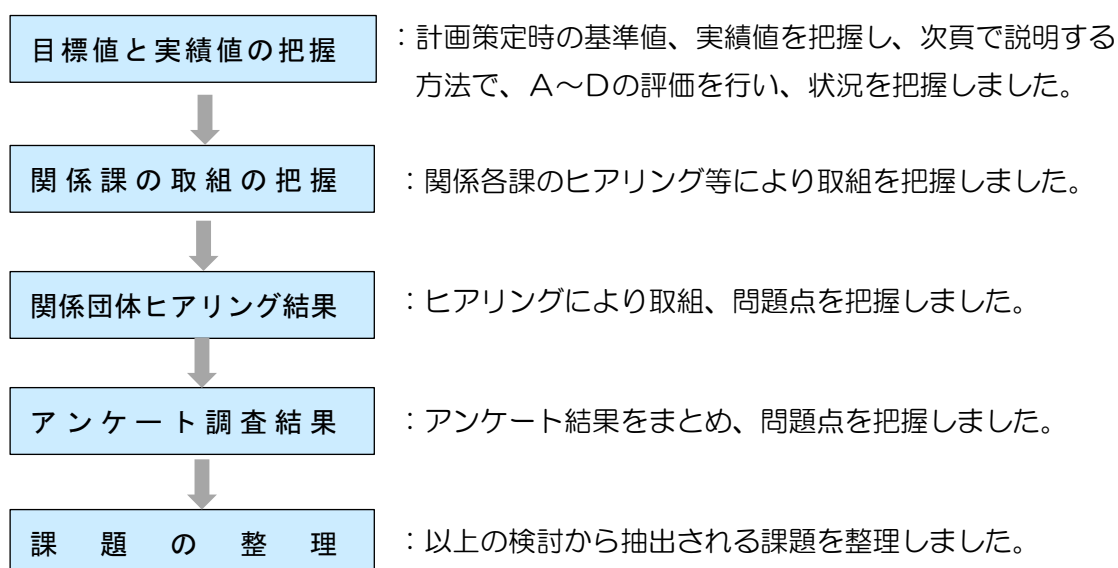
食育とは（前計画の定義です）

- 人間生活に最も身近な「食」を通して、いのちの尊さを実感し、自分自身と家族の心身の健康を維持する方法を身につけ、家族及び地域・郷土の人々、歴史、文化との結び付きを確認し、さらに日本及び世界の人々との関係について考えることのできる人を育てること
- 地域の歴史や特性を見つめ直し、地域で育まれてきた食や農、自然環境等を活かして豊かな食文化を継承し育てること

前計画の目標はどこまで達成したの？

計画に定めている目標値は次頁の表のとおりです。「玄海町健康増進計画等策定のための住民アンケート調査」及び「特定健診等実施状況報告書」等から実績値を把握し、評価しました。

評価の方法



目標値と実績値

項目	対象者	計画			評価	
		基準値	目標値	実績値		
朝食を食べない人の割合	幼児	8	4	0.0	A	
	小学生	8	4	0.8	A	
	中学生	19	9	9.7	A	
	特定健診対象者 ※実績：成人	12	6	12.2	D	
朝食を子どもだけ、一人で食べる人の割合	小学生	54	45	40.1	A	
	中学生	43	30	67.2	D	
夕食を子どもだけ、一人で食べる人の割合	小学生	9	4	10.6	D	
	中学生	29	20	21.7	D	
主食、主菜、副菜をそろえる人の割合	特定健診対象者 ※実績：成人	69	80	60.9	D	
緑黄色野菜を毎日食べる人の割合		71	80	11.8	D	
薄味に気をつける人の割合		68	80	51.3	D	
栄養成分表示を見る人の割合		28	40	46.1	A	
肥満の人の割合		20	—	27.6	—	
メタリックシフトロム該当者の割合		特定健診 対象者	男	23.7※	19.8※	27.6
	女		8.5※	6.7※	12.8	D
メタリックシフトロム予備軍の割合	特定健診 対象者	男	17.2※	10.8※	16.4	D
		女	7.1※	5.6※	4.1	A
糖代謝異常(HbA1c6.5以上)で保健指導域の人の割合	特定健診対象者	9.5※	8.1※	11.0	D	
脂質異常(LDL-C180以上)で保健指導域の人の割合		2.8※	1.8※	2.1	B	
血压異常(Ⅱ度以上高血圧)で保健指導域の人の割合		3.4※	1.5※	2.9	C	
特定健診受診率		44	65	51.2	A	
学校給食の町内産食材使用の割合	学校給食	6	10	—	—	

※第2期保健事業実施計画策定時(平成28年度)を基準値とし総合的に評価しました。

【判定基準】

判定	判定基準
判定 A	できている (75%以上の達成)
判定 B	ある程度できている (50~74%の達成)
判定 C	あまりできていない (25~49%の達成)
判定 D	できていない (25%未満の達成)
判定不可	値が0%で算出できない

※判定の計算方法

$$\frac{\text{実績値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100$$

評価からいえること

●町民の食事の状況

○朝食を食べない子どもの割合は減少しています。これまでの啓発や学校等での取組の成果です。

○朝食を子どもだけ、一人で食べる子ども（前期課程）は減少していますが、夕食を子どもだけで食べる子どもは増加しています。家庭における生活状況の変化がうかがえます。

○成人における主食・主菜・副菜の揃った食事、緑黄色野菜の摂取などバランスのある食への改善は進んでいません。ただし、栄養成分表示を見る人の割合は増えており、栄養への関心は高まっています。



○メタボリックシンドローム該当者の割合は男女とも増加し、予備群は男性が増加し、女性は減少しています。

●生活習慣病に関する指標の保健指導が必要な人の状況

■糖代謝異常（HbA1c 6.5 以上）

- ・糖尿病の可能性が高い糖代謝異常の人の割合は、増加傾向にあります。
- ・食事において、カロリー（エネルギー）を必要以上にとらないことや、決められたカロリーの範囲内で、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラルをバランスよくとる工夫が大切です。

■脂質異常症（LDL-C 180 以上）

- ・脂質異常症で薬物療法が必要となる人の割合は減少していますが、目標に達していません。
- ・脂質異常症は動脈硬化を起こしやすく、心筋梗塞や脳卒中のリスクを高める可能性があります。
- ・食事において、卵類、内臓類などのコレステロールの高い食品、動物性の脂の多い食品を控え、植物油、魚介類を摂取するなどの工夫が必要です。

■血圧異常（Ⅱ度以上高血圧）

- ・高血圧で血圧を下げる薬が必要な人の割合は減少していますが、目標に達していません。
- ・高血圧症は脳血管疾患等の循環器疾患、腎臓疾患等のリスクを高める可能性があります。
- ・食事において、食塩摂取量を少なくし、雑穀ご飯や、海藻類、きのこ類、ごぼうなどの根菜類などの摂取が必要です。



各課の取組からの課題

■健康福祉課

- 食生活改善推進員が減少し、新規加入者が少なく会員が高齢化している現状があります。
- 食育関係部署間の連携が不足し、食育に関する団体が自主的に情報発信を行っており、団体等の活動を把握し、広報紙でPRしていく必要があります。
- 食育に関する関係団体の把握が不十分であるため、庁内関係課と連携し団体の活動等の情報を把握することが必要です。

■教育課

- 玄海っ子教室では様々な体験活動が行われています。食に関しても今後も楽しみながら学習できる機会の充実が必要です。
- 学校給食における地場産品の使用を増やす取組の強化が必要です。
- 食育の推進や食生活も含めた生活習慣に関する情報提供の充実が必要です。

■農林水産課

- 地元でとれた魚を定期的に学校給食へ提供することは難しい状況です。
- 体験活動に参加した子どもたちは、この体験が魚や農産物に関心を持つきっかけとなっているため、継続した取組や内容の充実が必要です。

■企画商工課

- ふるさと応援寄付金等で地場産品の評価が高いことを踏まえ、地場産品の消費を促していくことが必要です。
- ふるさと納税の返礼品はありますが情報発信がなされていないため、町で情報をまとめ、発信していくことが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、地産地消や地場産品に関する啓発が不十分であるため、PRの方法を検討することが必要です。



関係団体からのご意見

●食生活改善推進協議会

- ・新型コロナウイルス感染症の流行以前は、特定健診時に減塩みそ汁の味比べ、学校や地域に出向いて料理教室を行っていました。
- ・町民の食生活においては、砂糖の摂りすぎや濃い目の味付けは良くないと理解していても、実践することは難しい方がみられます。

●玄海みらい学園

- ・給食では、郷土料理の「いりやき」や「だご」を提供しています。
- ・献立が和食や骨付きの魚の日は、食べ残しが多くなります。

●保育所

- ・給食に地場産品や子どもが育てた作物等を取り入れています。
- ・地域の方の協力のもと「お魚解体ショー」を行い、命の大切さを学んでいます。

●児童館

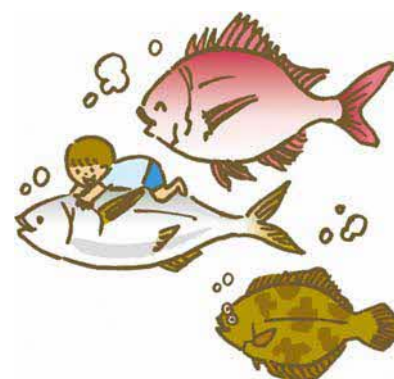
- ・夏休み等の長期休みの利用時には、朝から眠たそうな児童や、疲れを口にする児童がおり、十分に睡眠がとれているのか心配です。
- ・食への意識は家庭により大きく異なり、児童本人の食への関心にも影響を与えているように感じられます。

●唐津農業協同組合 玄海支所

- ・食の知識や重要性を正しく伝えることが必要です。
- ・生産者の高齢化や過疎化で後継者がおらず、地産地消における作物が減ることが懸念されます。

●仮屋漁協・外津漁協

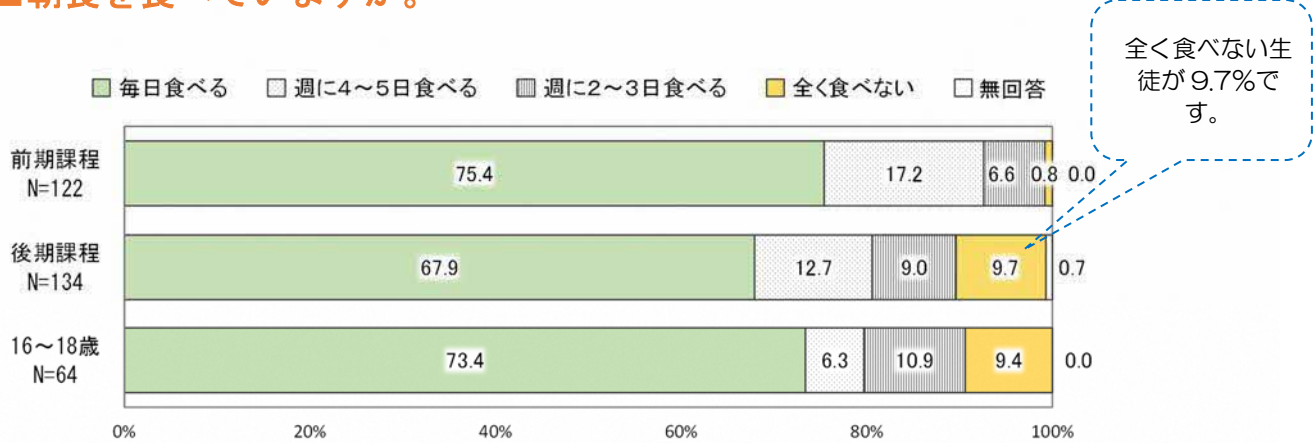
- ・保育所や学校からの依頼で魚の解体ショー、ヒラメの放流体験、養殖カキに関する授業を行っています。
- ・町のブランド魚等があれば、観光客の増加、ふるさと納税の増加につながり、玄海町の振興につながるとの意見です。



町民の食生活・食育の状況（アンケート結果）

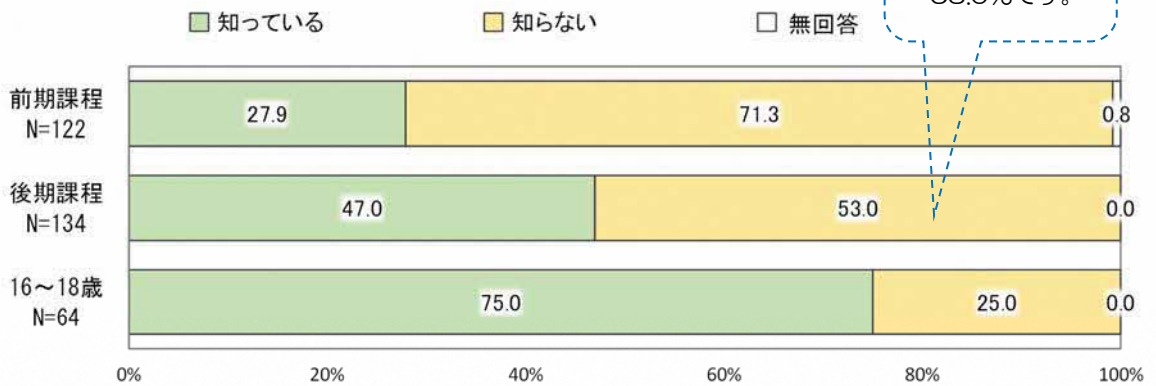
玄海みらい学園（前期課程・後期課程）、16～18歳

■朝食を食べていますか。

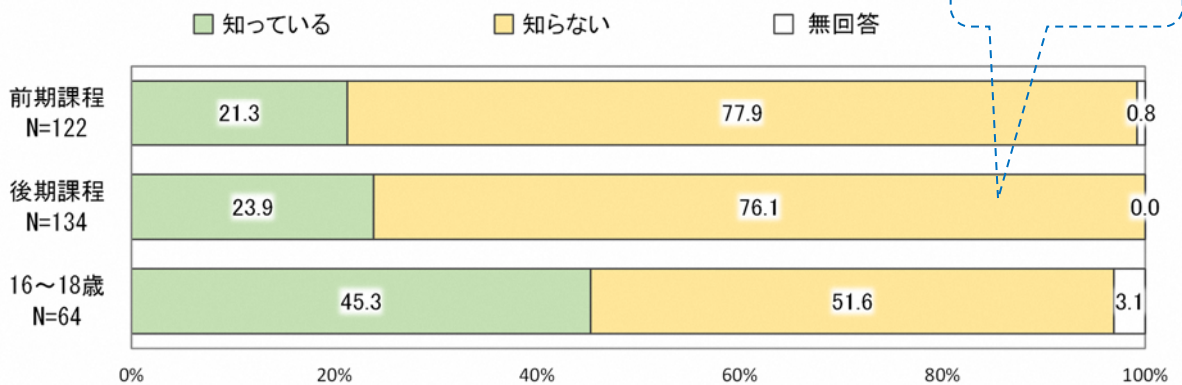


■郷土料理知っていますか。

【押し寿司】

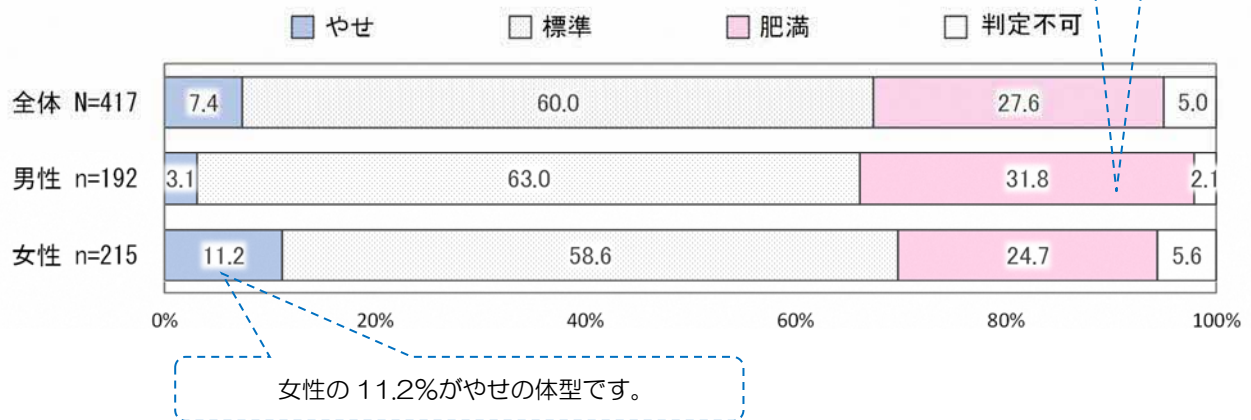


【いりやき】

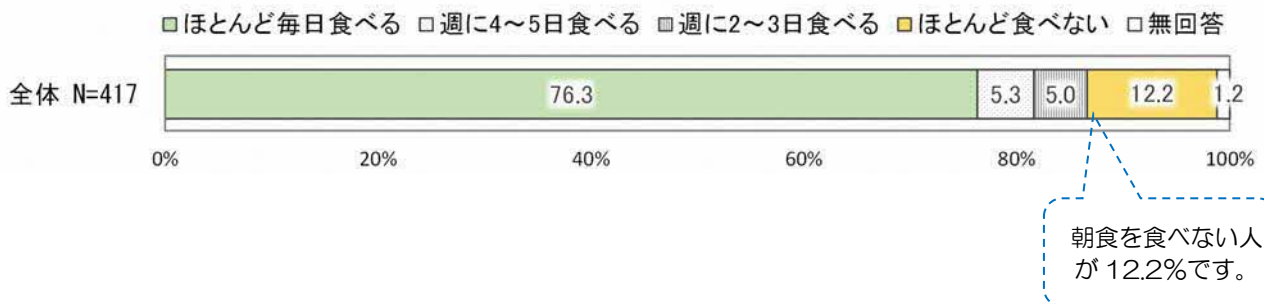


成人

■ 体型 (BMI)



■ 朝食を食べていますか

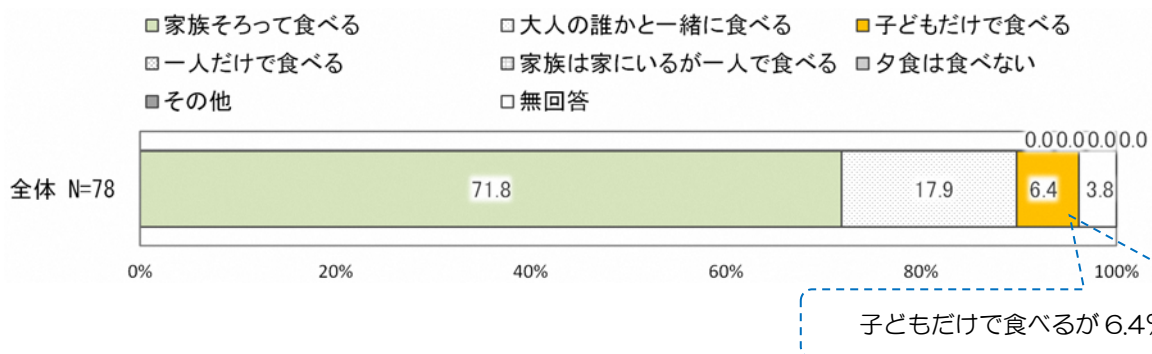


■ 朝・昼・夕の3食を必ず食べるように意識していますか



保育園の保護者

■ お子さんはふだん夕食を誰と食べていますか



食育の課題

前計画の評価、関係課の取組、関係団体からの意見、住民アンケート調査の結果から本町の食育の課題は次のように整理できます。

★ 玄海町の食の豊かさを活かした食育を進める必要があります

本町の農林水産業の体験活動や地産地消の推進など、玄海町の食の豊かさを実感し、享受できる食育を進める必要があります。

★ 生涯を通じて食の大切さを意識する必要があります。

- 幼児期から高齢期までの日常の食生活を見直し、1日3食、楽しんで食事できる取組が求められています。
- 生活習慣病予防に向けて食の改善を意識し、実践に向けた取組が求められています。

★ 町の郷土料理や特産品を子どもたちに伝え続ける必要があります。

郷土料理の「押し寿司」や「いりやき」が認知されていない状況があります。食べることのできる機会づくりや家庭での伝承などが求められています。



押し寿司（手前左）・いりやき（手前右）



押し寿司（中央）

★ 生活スタイルや家庭の状況により、アンバランスな食事や栄養不足などを生じない取組が求められています。

経済的な状況や就労状況からアンバランスな食事や栄養不足などを生じないように、子どもの状況を把握し、解消できる取組が求められています。